

## 日本農業気象学会2011年度第4回理事会議事録

日 時：12月10日（土）12:30～17:00

会 場：東京大学農学部 7 号館 A 棟 7 階会議室（東京都文京区弥生 1-1-1）

出席者：岡田益己、大政謙次、小林和彦、青木正敏、林真紀夫、富士原和宏、荊木康臣、横山仁、中屋耕、松岡延浩、佐々木華織、菅野洋光、町村尚、皆已幸也、平野高司、五十嵐大造、吉本真由美、松島大

欠席者：小沢聖、林陽生、廣田知良、北野雅治、黒瀬義孝、菅谷博

### [学会の法人化に関する情報提供]

1. 株式会社アダムズ代表取締役の堀井淳様によるご講演

一般社団法人となることのメリット、デメリットの概要や税務上の取扱について説明があった。

2. 質疑応答

法人化した場合の支部会・全国大会（合同大会）の扱い、課税などについて質疑が行われた。

当学会が法人化するにあたり、責任の明確化の面で一般社団法人化する意味はあるが、事務の煩雑化等デメリットが多いので、現状では急いで進める必然性はない等の意見が出された。

### [議事録確認]

1. 2011年度第3回理事会議事録報告（資料1）

メールで確認済みにつき了承された。

### [報告・連絡事項]

1. 編集委員会報告（資料2）

中屋理事より会誌編集・発行の経過について報告された。67-4特集号は受理順でなくテーマ別に掲載している。69-2特集号は園芸工学研究部会の予定。Word 統一化による編集校正作業の効率化を検討中である。

松島理事より ISI 登録に向けた会誌の実態調査結果が報告された。登録の見込みがあることから69巻を目途に目指す。

2. 2011年度学会賞について（資料3）

小沢理事の代理で菅野理事より報告された。学術賞、普及賞の推薦はなく、論文賞、奨励賞の推薦が報告された。論文賞推薦について、筆頭著者 1 人につき 2 論文が推薦されていることについて、編集委員会から細則や経緯を補足説明し審査委員に伝える。学術賞、普及賞推薦がなかったことについて、推薦に係る作業の始動の遅延や周知の不徹底を改善する。

3. 2011年度永年功労表彰について（資料4）

菅谷理事の代理で菅野理事より報告された。4名のうち、永年功労表彰規定第4項（原則30年以上）に達しない会員については、永年功労でなく表彰内容に最も合致する功績賞に総務理事が推薦する案が出され、審査委員会に打診することとした。日程が遅れているので至急進める。

4. 学会賞の賞牌について

報告なし

5. 2012年度大阪大会の進捗状況（資料5）

町村理事より経過報告された。2012年温暖化フォーラムの開催案が了承され、講演者について至急メーリングリストなどで公募することとなった。発表申し込み期限についても、

遅延がないようメーリングリストで会員に周知する。WMO-joint 公開シンポジウムは、研究紹介中心とし特集号は組まない。講演要旨集の J-Stage 公開について、2013年度大会以降システム構築を検討する。

#### 6. 2013年度大会について

皆已理事より、3/26-29開催予定、大会委員長の選出・内諾の状況、県と市からの助成を受ける予定であること等について経過報告された。ISAM については人手不足から本部で主導してほしい旨の要望があった。エクスカージョンは催行しない。

#### 7. 日本農学賞受賞候補者の推薦について

応募がなかったため今年度の推薦はなしとする。

#### 8. 学会ポスター作成について

11月10日締切だったが応募なし。青木支部長が企業に打診し、謝礼1万円ほどの程度のものできるか、案を出してもらう。

#### 9. 日本農学会「東日本大震災の復興に関する農学の役割ワーキンググループ」

設立について（資料11）

横山理事より、東日本大震災の復興に関する農学の役割ワーキンググループ設立と、テクニカルリコメンデーションの公表、および第3回日本農学会運営委員会報告があった。

#### 10. 日本農業工学会の次期役員候補者について

吉本理事より、会長・副会長らと検討した結果、今期に引き続き真木会員を推薦することとした旨報告された。

#### 11. 日本農学アカデミーからの依頼と対応について（資料6）

菅野理事より、日本農学アカデミーからの依頼については、学会としては見送ることとした旨報告された。

#### 12. その他

- ・協賛・後援等（資料7）

[協賛] 3件

##### ①生態工学会「2011年第4回生態工学定例シンポジウム」

- ・日時：2011年11月 24日10:00～17:30
- ・会場：東京大学農学部弥生講堂一条ホール

##### ②日本生物環境工学会第22回 SHITA シンポジウム「植物工場 次世代への展開」

- ・日時：2012年1月20日
- ・会場：中央大学駿河台記念館

##### ③日本施設園芸協会「施設園芸・植物工場展2012（GPEC）」

- ・日時：2012年7月25日～7月27日
- ・会場：東京ビッグサイト

[後援] 1件

日本学術会議農業情報システム学分科会、日本生物環境工学会

「市民公開シンポジウム＜安全・安心な社会のための食糧・健康・環境＞  
ー植物工場によるライフ&グリーンイノベーションー」

- ・日時：2011年9月7日14:00～17:50
- ・会場：北海道大学クラーク会館講堂

- ・青木広報・企業担当理事より、センサエキスポ2011専用ブースでの講演要旨集のバックナンバーの販売結果について、販売したが学会に返納する金額はなかったことが報告された。
- ・林（真）理事より2010年度名城大大会の講演要旨集の大量の余部について報告され、庶務理事保管用が十分あれば、自由に処分することを確認した。

[審議事項]

1. 学会の法人化について

講演後の質疑のとおり。

2. 大阪 ISAM2012での国際シンポジウムおよび日中韓協力について

小林副会長からの経過報告の後、中韓から特別編集委員として Editorial Board に参加してもらった件等を確認した。特集号は出さず、通常の ISAM での手続きを進める。

3. 事務作業の外注化による負担軽減について (資料8)

養賢堂の嶋田氏、木下氏を交えて、委託可能な業務について説明し、検討を行った。見積作成のため、より具体的な業務内容についての情報を木下氏に寄せることとなった。

4. 投稿規定の改定について (資料2)

中屋理事から大阪 ISAM2012での ISAM および日中韓合同シンポジウム論文に対する編集体制整備に伴う投稿規定の改定案が示された。海外からの参加者の投稿料等については、編集委員会の判断で決めることを理事会として了承した。

5. 次期役員を選出について

今期で任期が切れる平野総務理事と五十嵐会計理事の後任について、選出作業を開始することとした。

6. その他

- ・ 第 26 回気象環境研究会コメンテータ候補について (資料 9)

農業環境技術研究所より学会宛に後援依頼があり、応諾した。コメンテータとして菅野理事を推薦することとなった。

- ・ 総会に向けての整理・確認 (資料10)

2012年度総会に向けて資料作成を始めることを確認した。